

## 「旅と学びの協議会」第一期会員に 26 団体が参画

～現代版「可愛い子には旅をさせよ」の全世代型ムーブメントの創出～

- ・「旅と学びの協議会」第一期会員に、26 の企業・教育機関・自治体等が決定しました。
- ・2 月 16 日に協議会シンポジウムをオンラインにて一般公開。第一期の活動内容等をご紹介します。



「旅と学びの協議会」(事務局: ANA ホールディングス株式会社)の第一期会員に 26 の企業、教育機関、自治体等の参加が決定しました。

「旅と学びの協議会」は、ANAHD が立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長 出口治明氏、東京学芸大学大学院准教授、スタディサプリ教育 AI 研究所所長 小宮山利恵子氏、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授 前野隆司氏、駒沢女子大学観光文化学類准教授 鮫島卓氏をコアメンバーとした有識者とともに、教育工学・幸福学・観光学の視点から旅の効用を科学的に検証し、旅を次世代教育の一環としての活用を提言することを目的に昨年 6 月に設立しました。

事務局である ANAHD と第一期会員の 26 団体で昨年 10 月より「旅の教育プログラム開発」や「旅に関するデータの科学的検証」、「協議会の活動の発信」などを実施しています。





## ◆第一期参加団体

- ・企業: 鉄道・通信・広告・観光・教育・航空などの業界より 14 社
- ・学校教育機関: 私立中高等学校より 5 校
- ・団体: 地方自治体や政府観光局、NPO 法人より 7 団体



◆活動内容:


A,B,C グループと大きく3つのテーマに分け、旅の教育プログラム開発や、旅のデータを科学的に検証すること、協議会の活動の発信など実施しております。

	大項目		中項目(テーマ)	リーダー企業
A	新たな旅の教育プログラム開発	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域と連携した中高生向けの教育旅行プログラムの開発</li> <li>● 次世代修学旅行、探求学習のアップデートを目指す</li> <li>● 学校教育機関や行政組織への旅の効用を生かした次世代教育体系構築の提言</li> </ul>	
	関係人口創出のための取り組み	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域と連携したリカレント教育開発</li> <li>● 人事研修における教育旅行プログラム開発</li> <li>● 働き方改革、ワーケーション推進</li> <li>● 旅の効用を活用した人材育成プログラムの実施</li> </ul>	
B	旅のデータの有効活用	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅とスキルの関係性を検証</li> <li>● 長期的視野(3年程度)を見据えた研究活動</li> </ul>	
C	新たな旅のメディア創出、需要喚起	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記との連携をはかりながら、マスメディア(テレビ)、WEB媒体、SNSなどを活用した、旅と学びを軸にした情報などの発信、将来的な書籍化の検討</li> <li>● 一般公開向けの勉強会や報告会シンポジウムなどの企画推進</li> </ul>	

◆第一期の活動を紹介するシンポジウムをオンラインにて開催

旅と学びの協議会 第一期の活動内容紹介等を目的としたシンポジウムを2021年2月16日(火)にオンラインにて開催します。

「旅と学びの協議会」シンポジウム「ポストコロナの旅と不利益」(オンライン)開催概要

- 日時:2月16日(火)16:00~18:00
- 申し込み:旅と学びの協議会 WEB サイト(<https://ana-conference.com/>)よりお申し込みください。
- 費用:無料
- 実施内容:
  - ・実施目的について<ANAHD 事務局>
  - ・開会の挨拶<理事 東京学芸大学大学院准教授、スタディサプリ教育 AI 研究所所長 小宮山利恵子氏>
  - ・基調講演「ポストコロナの旅と不利益」<アドバイザー 駒沢女子大学観光文化学類准教授 鮫島卓氏>
  - ・各テーマの取り組みについて紹介 <各ワーキンググループ>
  - ・第2期会員募集に関するご案内・閉会の挨拶:5分 <ANAHD 事務局>

以上